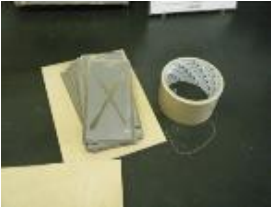



整理No. 2019-20		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 6月 18日(月) 11時 45分 天候(晴) 温度()℃湿度()%			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	技術部門		雇用形態	正社員 (派遣) 契約、その他()
	年齢	41歳	性別: 男 (女)	勤続年数	1年1ヶ月 経験年数 1年1ヶ月
	傷病名	擦傷			
	傷病部位	右眼角膜			
災害発生状況	①塗板の評価を行うため、腐食試験後の塗板にガムテープを貼り、剥がす作業を行っていた。		状況概略(写真orイラスト) 使用した塗板とガムテープ		
	②作業途中で、塗板を押さえる力よりテープを引っ張る力が勝ってしまい、塗板が飛んで右目(瞼の上から)に当たった。作業をしていた実験室では、保護メガネの着用がルール化されていたが、着用せずに作業を行っていた。				
	③昼休み中、自身で右目を冷やして様子を見ていたが痛みが治まらない為、診療所に行き産業医の指示で眼科を受診した。		試験後の塗板にガムテープを貼って、剥がした時に塗板の押さえが不十分で塗板が右目に当たった。		
	④眼球には直接当たってないが、角膜が受傷していた。受診後も痛みがあった為、帰宅した。				
	災害の型 ^{※1)} :4 飛来、落下		作業の形態 (定常) 、非定常、その他()		
起因物: 塗板		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man): ルール不遵守(保護メガネ未着用)、KY不足				
	2.物に関する要因(machine): 特になし				
	3.環境要因(media): 派遣社員への教育不足(KYT,安全懇談会等に不参加)				
	4.管理的要因(management): 作業標準無し				
対策	①実験室では、決められた保護具着用の再徹底。②ガムテープ剥離作業の作業標準を作成し、塗板を確実に押さえて作業することを全員で認識した。③作業標準が風化しないように3現KYTのテーマとして使用し、内容を更新していく。④派遣社員の安全意識を高めるため、過去の災害事例について教育を実施。⑥他の試験についても作業標準の整備を進める。⑦派遣写真の受け入れ時の安全教育の項目の中に、作業中、怪我をした場合は直ぐに報告する事を盛り込んだ。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-2災害・事故の想定と対応、1-6教育、2-1マネジメント、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)